

令和5年度 教科担任制についての 取組 (三次市立八次小学校)

教科担任制を導入した背景とねらい

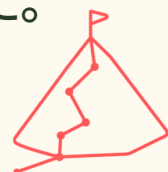
八次小学校には人懐っこく教職員に親しみをもって接する児童が多い。

一方で、高学年になると担任との関係性に悩む児童もいる。

発達や生徒指導、家庭環境などの課題のある児童が複数いる。

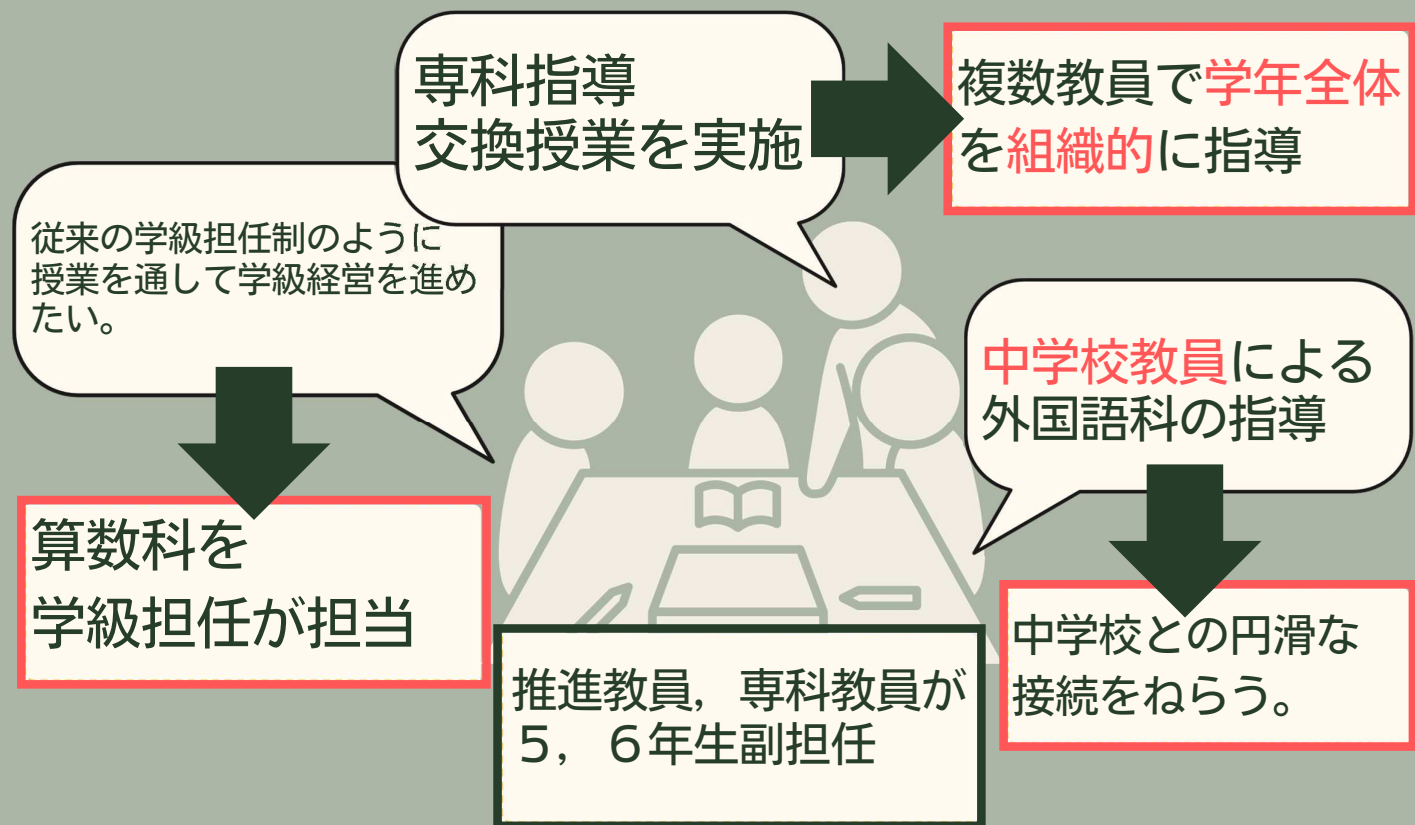
各教職員の強みを生かした教科担当によって、授業の質の向上を図る。

第5・6学年で教科担任制を実施し、複数の教員で組織的に児童への指導にあたることにした。



工夫①

高学年の指導体制



高学年の指導体制

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道德	総合	学活	外国語
週時数	4	1	2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	1	2	1	2
5年A組 (担任:A)	C	推進	B	A	推進	専科	A	A	A	A	A	A	専科
5年B組 (担任:B)	C	推進	B	B	推進	専科	A	A	B	B	B	B	専科
5年C組 (担任:C)	C	推進	B	C	推進	専科	A	A	C	C	C	C	専科

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道德	総合	学活	外国語
週時数	4	1	3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	1	2	1	2
6年A組 (担任:A)	B	推進	A	A	推進	A	A	専科	C	A	A	A	専科
6年B組 (担任:B)	B	推進	A	B	推進	B	C	専科	C	B	B	B	専科
6年C組 (担任:C)	B	推進	A	C	推進	C	C	専科	C	C	C	C	専科

工夫②

週案作成について



推進教員が第5・6学年の毎週の週予定（週案原案）を作成し配付する。

担任の週案作成による負担軽減

担任は週予定をもとに、学年で協議の上、各学級の週案を作成する。

第32週 12月11日～12月16日				
12月11日（月）	12月12日（火）	12月13日（水）	12月14日（木）	12月15日（金）
予定				学年大会開催
出席				
各学級の週案作成（※）				
1年	1年	1年	1年	1年
2年	2年	2年	2年	2年
3年	3年	3年	3年	3年
4年	4年	4年	4年	4年
5年	5年	5年	5年	5年
6年	6年	6年	6年	6年
7年	7年	7年	7年	7年
8年	8年	8年	8年	8年
9年	9年	9年	9年	9年
10年	10年	10年	10年	10年
11年	11年	11年	11年	11年
12年	12年	12年	12年	12年
13年	13年	13年	13年	13年
14年	14年	14年	14年	14年
15年	15年	15年	15年	15年
16年	16年	16年	16年	16年
17年	17年	17年	17年	17年
18年	18年	18年	18年	18年
19年	19年	19年	19年	19年
20年	20年	20年	20年	20年
21年	21年	21年	21年	21年
22年	22年	22年	22年	22年
23年	23年	23年	23年	23年
24年	24年	24年	24年	24年
25年	25年	25年	25年	25年
26年	26年	26年	26年	26年
27年	27年	27年	27年	27年
28年	28年	28年	28年	28年
29年	29年	29年	29年	29年
30年	30年	30年	30年	30年
31年	31年	31年	31年	31年
32年	32年	32年	32年	32年
33年	33年	33年	33年	33年
34年	34年	34年	34年	34年
35年	35年	35年	35年	35年
36年	36年	36年	36年	36年
37年	37年	37年	37年	37年
38年	38年	38年	38年	38年
39年	39年	39年	39年	39年
40年	40年	40年	40年	40年
41年	41年	41年	41年	41年
42年	42年	42年	42年	42年
43年	43年	43年	43年	43年
44年	44年	44年	44年	44年
45年	45年	45年	45年	45年
46年	46年	46年	46年	46年
47年	47年	47年	47年	47年
48年	48年	48年	48年	48年
49年	49年	49年	49年	49年
50年	50年	50年	50年	50年
51年	51年	51年	51年	51年
52年	52年	52年	52年	52年
53年	53年	53年	53年	53年
54年	54年	54年	54年	54年
55年	55年	55年	55年	55年
56年	56年	56年	56年	56年
57年	57年	57年	57年	57年
58年	58年	58年	58年	58年
59年	59年	59年	59年	59年
60年	60年	60年	60年	60年
61年	61年	61年	61年	61年
62年	62年	62年	62年	62年
63年	63年	63年	63年	63年
64年	64年	64年	64年	64年
65年	65年	65年	65年	65年
66年	66年	66年	66年	66年
67年	67年	67年	67年	67年
68年	68年	68年	68年	68年
69年	69年	69年	69年	69年
70年	70年	70年	70年	70年
71年	71年	71年	71年	71年
72年	72年	72年	72年	72年
73年	73年	73年	73年	73年
74年	74年	74年	74年	74年
75年	75年	75年	75年	75年
76年	76年	76年	76年	76年
77年	77年	77年	77年	77年
78年	78年	78年	78年	78年
79年	79年	79年	79年	79年
80年	80年	80年	80年	80年
81年	81年	81年	81年	81年
82年	82年	82年	82年	82年
83年	83年	83年	83年	83年
84年	84年	84年	84年	84年
85年	85年	85年	85年	85年
86年	86年	86年	86年	86年
87年	87年	87年	87年	87年
88年	88年	88年	88年	88年
89年	89年	89年	89年	89年
90年	90年	90年	90年	90年
91年	91年	91年	91年	91年
92年	92年	92年	92年	92年
93年	93年	93年	93年	93年
94年	94年	94年	94年	94年
95年	95年	95年	95年	95年
96年	96年	96年	96年	96年
97年	97年	97年	97年	97年
98年	98年	98年	98年	98年
99年	99年	99年	99年	99年
100年	100年	100年	100年	100年

成果と課題

①授業の質と向上

成果

- ・ 担当教科について、到達目標を明確にして指導に当たることで、児童実態に応じて指導方法を柔軟に変更しながら、学年で共通した指導と評価を行うことができた。また、同じ授業を3クラスに行うことによって指導改善を行うことができた。
- ・ 担当教科が決まっているため効率的な教材研究・授業準備を行うことができ、授業の質向上を図ることができた。

課題

- ・ 教科横断的な学習を行うための打合せ時間の確保が難しい。
- ・ 担当していない教科についての児童の学習状況については、教科担当の話と成績のみで知ることになった。
→相互の授業を参観する時間を確保していく。

②多面的な児童理解

成果

- ・ 複数の教員で学年全体の児童と関わることで、随時問題を共有し組織的な指導を進めることができた。
- ・ 家庭学習や生活上のルールなどについても、児童の様子について気付いたことを伝え合い、学年で統一した指導を行うことができた。
- ・ 配慮を要する児童についても、学年で児童の状況を共有し、指導にあたることができた。

課題

- ・ 従来の学級担任制のように、一人の児童を深く理解するには工夫が必要になる。
→日常的かつ意識的に児童の話を共有していく。

③小学校から中学校への円滑な接続

成果

- ・ 中学校教員による外国語科の授業を行うことで、中学校の授業への見通しをもたせることができた。
- ・ 中学校では教科ごとに先生が代わるため、小学校のうちから慣れることができてよい、と感じている児童もいる。

課題

- ・ 今後も、授業でのルールや家庭学習のしかたなど、中学校と連携し、スムーズな移行ができるようにしていく。

④教師の負担軽減

成果

- ・ 3クラスで同じ授業を行うため、教材研究の時間が短縮された。
- ・ 3クラスを一人で担当するため、授業の進め方や評価の観点など打合せをする時間が短縮された。

課題

- ・ 時間割の融通が利きにくいため、急な予定変更や休みに対応することが難しい。
- ・ 時間割編成をする担当者への負担が大きい。
→年度当初に基本時間割を組む際に、相互に授業参観できるような想定や、それぞれの担当に偏りが出ないように配慮する。